

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ)	授業コード	E002603
担当教員名	橋本 堅次郎	科目ナンバリングコード	E31203
配当学年	3	開講期	前期
必修・選択区分		単位数	4
履修上の注意または履修条件	自ら考え抜く、調べる、自分で選択をするがテーマです。受け身ではなく、積極的に課題に取り組んでください。		
受講心得	欠席はしないこと。授業中も質問は大歓迎。		
教科書	特にありません。都度、プリントを配布します。		
参考文献及び指定図書	授業の中で指定します。		
関連科目			

授業の目的	ゼミナールⅡでは、マネジメントを中心に組織を使って成果を出す方法、考え方について学びました。その中で自ら考える抜く力を大事にしてきましたが、ゼミナールⅢではさらに発展させて、自らのテーマについて考え抜く、調べつ、結論をだすことを目的にします。特に3年生の後半になると就活が始まり、4年生になると卒業論文にも取り組まないとはいけません。自らの思考能力を鍛えることは必ず、役立つはずで。
授業の概要	ゼミナールⅡとは異なり、自分で考え調べることを重点に授業を進めます。自分の考えを持つ。自分自身を伝える。チームで問題解決にあたる。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：オリエンテーション</b> ゼミナールⅡで学んだことの復習。ゼミナールⅢの進め方。演習「自己を伝える」(自己紹介)	
<b>第2週：チームで成果を出す基本スキル</b> 演習「自己を伝える」(1分スピーチ)。演習「KJ法の進め方」。テーマ「3年前期をどのように過ごすか？」・振り返り	
<b>第3週：マイテーマ設定</b> テーマ領域①「マネジメント」 テーマ領域②「ベンチャービジネスコンテストプラン」 テーマ領域③「もっとも関心があり研究したいこと」・振り返り	マイテーマの仮決定
<b>第4週：マイテーマのプレゼンテーション①</b> ・プレゼンテーションとは ・演習:マイテーマのプレゼンテーション準備とチーム内発表。・プレゼンフォームを使用する。	マイテーマの決定
<b>第5週：マイテーマ決定 プレゼンテーション②</b> 全体プレゼンテーション。ビデオで記録。・振り返り	
<b>第6週：マイテーマ制作開始①</b> マイテーマの制作開始。制作について相談。	マイテーマ制作
<b>第7週：マイテーマ制作②</b>	マイテーマ制作
<b>第8週：中間報告とシェイプアップ (チーム内)</b> チームを編成し、マイテーマのシェイプアップを行う。	
<b>第9週：マイテーマ制作③</b>	マイテーマ制作
<b>第10週：マイテーマ まとめ</b>	

レポートとして完成させる。	マイテーマ制作
<b>第11週：プレゼンテーション①</b> 一人5分でプレゼンテーション。ビデオ映像記録	プレゼン準備
<b>第12週：プレゼンテーション①</b> 一人5分でプレゼンテーション。ビデオ映像記録	プレゼン準備
<b>第13週：振り返り</b> チームで半期を振り返り、今後の自分の課題を発見する。	
<b>第14週：予備</b> 予備日。	
<b>第15週：まとめ</b> 半期のまとめと振り返り	
<b>第16週：期末試験</b> 成果物を試験の代わりとする。	
<b>授業の運営方法</b>	(1) 授業の形式 「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式
	(3) アクティブ・ラーニング
<b>備考</b>	

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	2年間の集大成であり、成果物の作成に意欲を燃やす。自分の考えたものへの取り組み姿勢を持つ。
<b>【知識・理解】</b>	ただ聞くから自分で「調べる」段階へ。調べた知識の幅広い理解を進める。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	自分で調べたマイテーマを文字で表現することを学ぶ。さらに他の学生のマイテーマの内容を知ることによって識見の幅を広める。
<b>【思考・判断・創造】</b>	全15回の知識・理解の経験情報を蓄積し、物事への思考・判断ができるようになること。自分自身の考えを創造することができるレベルを目指す。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。		20点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		40点		
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	